

第5回 軽金属女性未来賞

軽金属女性未来賞は、軽金属分野において学術研究または技術開発に顕著な功績をあげ、将来の活躍が期待される女性研究者または女性技術者に贈る。



大島 智子 君
(株式会社TYK)

大島 智子 君は、株式会社TYK入社から一貫して研究に従事し、初の技術系女性管理職に登用された。入社直後から、プロトン導電体を用いた溶融アルミニウム用水素センサプローブの改良および製造立上げに取組み、センサプローブの安定供給に尽力した。その後、水素センサの他金属への応用として、消耗型溶融銅用水素センサ開発に貢献し、水素センサの更なる適用拡大に取り組んでいる。同時に、新エネルギー製品開発を担い、量産体制の確立に寄与した。この間、同君は総合研究大学院大学で博士号を取得し、その成果を基にして研究開発に大いに貢献している。軽金属学会講演大会中には、企業展示責任者として、多くの軽金属学会員に新製品説明および利用法紹介を行う等、軽金属分野への寄与も高い。

一方、軽金属学会『女性会員の会』に設立当初から連続して参加し、社会人博士号取得者として若手女性研究者・技術者のロールモデルの役割を果たしている。また、社内に女性が増える中、女性が働きやすい環境を作るために貢献している。

以上のように、同君は広い視野に立ち問題解決能力を有する、女性研究者の先駆的人材として、同時に、今後業界を牽引する研究者として、更なる活躍が期待される。